

「ふくえっ子」通信 NO. 14

武道大会がんばりました！

去る1月19日に、福栄地域で半世紀以上続く武道大会が本校体育館を会場に開催されました。1月9日からの2週間、本校の小1から中2までの児童生徒全員が、剣道の部と柔道の部に分かれ、地域の方にご指導いただきながら練習を重ね、大会当日を迎えました。どの子も真剣に試合に臨み、最後まで力を振り絞って戦いました。試合が終わった後には、参加者みんなで地域の婦人会の方に準備していただいた豚汁をいただきました。子どもたちは、この大会を通して、目上の人や対戦相手に対する礼儀や、苦しいことを頑張って乗り越える忍耐力の大切さを学びました。私の知る限り、全校児童生徒が参加する武道大会が実施されているのは、県下で福栄地域以外にありません。子どもたちが地域の方から直接指導を受ける貴重な機会であり、日頃の授業とは違った緊張感のなかで礼儀や忍耐力と言った普遍的な価値も学ぶ場であるこの大会が末永く続くことを願わずにはられません。



「ふるさと福栄のこの一枚」

去る12月20日、中学部3年生が、ふくえ学習の集大成として、「ふるさと福栄のこの一枚」を発表しました。3年生一人ひとりが、一枚の写真に込めたふるさと福栄に対する熱い思いを語りました。今日発表した写真と発表原稿は1月22日～2月4日の間、ハピネス福栄に展示しますので、ぜひご覧下さい。



「通学路から考える紫福のこれから」
阿座上 佳祐



「雲海へ続く果てしない未来」
荻野 純菜



「四季 美しい故郷にさらなる輝きを」
中村 歩



「集え～集まりたい場所がここにある～」
中村 一稀



「心をひとつに盛り上げられ福栄」
中村 美咲



「紫福小学校～戻ってみたいあの場所へ～」
藤本 峻平



「咲き誇れ福栄の思い」
藤山 七海



「故郷揺るがすたら魂!!」
久光 元



「未来に続けふるさと福栄」
宮脇 航希